

辺野古・高江と熱い連帯

石川県平和委員会企画の「沖縄支援ツアー」（5月20日～23日）に9人が参加。見たこと感じたことを3人の感想文と写真で紹介します。



写真説明二左辺野古新基地建設に反対して座り込む住民と左は警備員。中土砂を運ぶダンプカーの列。右プラカードを掲げ非暴力のミニデモで抗議する皆さん=米軍のキャンプ・シュワブ前にて

日本の民主主義と 地方自治のあり方を自問した

沖縄支援ツアーに初めて参加した。那覇空港に降り立つとムッとする湿気が体にまとわりつき、梅雨入りした沖縄を実感した。レンタカーを借り山野さんの運転で、那覇市内の瀬長亀次郎の遺品などを展示する「不屈館」へ。

その後、宜野湾市憲数（かかず）の米軍普天基地や小銃や大砲で破壊された弾痕の痕が生々しく残る塹、岩をくり抜いた陣地壕（小高い丘にあるコンクリートで出来た旧日本軍のトーチカ）や嘉手納基地を見て回った。太平洋戦争末期の沖縄戦の傷跡に触れると共に、今もなお沖縄に米軍基地を押し付けている実態を目の当たりにし、この国の矛盾を思った。

■孫たちの未来を壊すな！！■

翌日は辺野古の新基地建設に抗議するため、米軍のキャンプ・シュワブへ向かった。前日のどんよりした空模様とは打って変わって快晴となり、沖縄らしい綺麗な紺碧の海が広がっていた。現場に着くと、すでにキャンプ・シュワブのゲート前では基地建設に反対する人がマイクを手に声を上げている。

歩道の立て看板に書かれた「新基地断念まで座り込むゾ！1780日」の文字

が闘いの長さを物語っていた。辺野古の海を埋め立てるための土砂や岩を運ぶ工事車両を阻止するため、抗議する人たちがゲート前に座り込みを開始し私たちも加わった。しばらくすると、紺色の制服に身を包んだ警備員や機動隊、防衛省職員ら多数が現われ、横一列に並び座り込んでいる私たちと向き合う。眩しい青空の下、重苦しい空気が辺りを包んだ。数分後、隊員が数人がかりで座り込む人たちを持ち上げ次々とゲート前から排除していった。この強硬な行為に私は夢中でカメラのシャッターを切っていた。

車道に目をやるとダンプカーの長い列がずらり。その台数の多さに目がくらくらする。私が見た限り車両は沖縄ナンバーだ。機動隊員によって無理やり開かれたゲートにダンプカーが次々と出入りし始めた。歩道からは反対する人たちが「孫たちの未来を壊すな！！」と声を合わせて叫び、砂を巻き上げて走る運転手に怒号を飛ばす。「県民同士が争う様子を誰かが上から笑って見ている」と語った前沖縄県知事の翁長氏の言葉を思い出し、怒りがこみ上げ胸が詰まった。

沖縄に基地はいらない—沖縄県民の民意を無視し続け工事を強行する日本政府。対峙するうちなーんちゅ（沖縄

当面の主な活動予定

- ◆ 6月26日(水)13時、四高公園「昼デモ」
- ◆ 7月4日(木)参議院選の告示
- ◆ 7月10日(水)13時、四高公園「昼デモ」
- ◆ 7月16日(火)12時、エムザ前「沖縄連帯街宣」（8月15日(木)）
- ◆ 7月21日(日)参院選投票日
- ◆ 7月21日(日)10時、卯辰山・玉兎ヶ丘「反核平和 おりづる市民のつどい」
- ◆ 7月30日(火)18時半、勤医協会館「原水禁世界大会結団式」
- ◆ 8月7日(水)～9日(金)「2019年原水爆禁止世界大会」（長崎）
- ◆ 8月30日(金)18時半、勤医協会館「原水禁大会報告会」
- ◆ 9月27日(金)18時半、川田忠明氏（日本平和委員会常任理事）の学習講演会「朝鮮半島情勢・北東アジアの平和構築と日米安保破棄の展望」（仮題。会場は未定）
- ◆ 9月28日(土)・29日(日)「平和委員会北信越ブロック交流会」俱利伽羅塾

の人）たちに負けないよう、私も今回のツアーで見たことや感じたことを周りの人に積極的に伝えていこうと思う。

キャンプ・シュワブのゲート前で座り込んでいる時に見た、うちなーんちゅの凛とした強さを秘めた横顔がいまも蘇ってくる。（K・S）

テントを守る高江の住民と 繋がり、勇気をもらう

「不屈館」を訪れて思った。頑と信念を曲げない姿、群衆を引き付ける演説、その行動・発する言葉に民衆がどれだけ励まされたか—瀬長亀次郎さんの肉声演説を聞いてみたい。

二日目、辺野古埋め立て工事現場に行った。話には聞いていたが、警備員と警察が一緒になって、トラックを午前中40～50台並ばせ誘導。“あなたたちは、こういう仕事を手伝って本当にこれでいいと思っているのか！！”と聞いてみたい心境になった。日本人同士が睨みあうことが、一番辛い悲しい現実を知った。

■女性の話に衝撃■

その後、東村高江にも連れて行ってもらった。ここでも衝撃を受けた。2007年から、とても自然豊かな森にヘリパット建設が始まり、住民の座り込みが始まることを学びながら、テントで当ウラにつづく

原水禁世界大会に代表を

8月7日～9日、長崎で「2019年原水爆禁止世界大会」が開催されます。県平和委員会として代表派遣に取り組みます。参加費の一部を補助します。希望者は山野090-2121-9741、柴原090-2837-8105まで連絡下さい。

平和行進県内通し行進に2人の会員

6月15日、俱利伽羅で引き継いだ「国民平和大行進」の県内通し行進者として岩木治美さん（2年目で能登コースから）と初挑戦の村中香子さんが奮闘しました。

